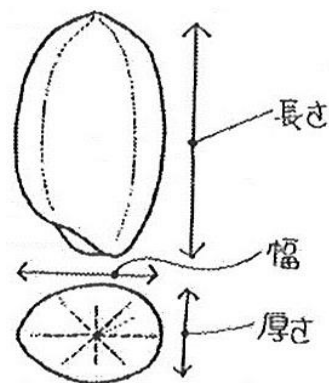
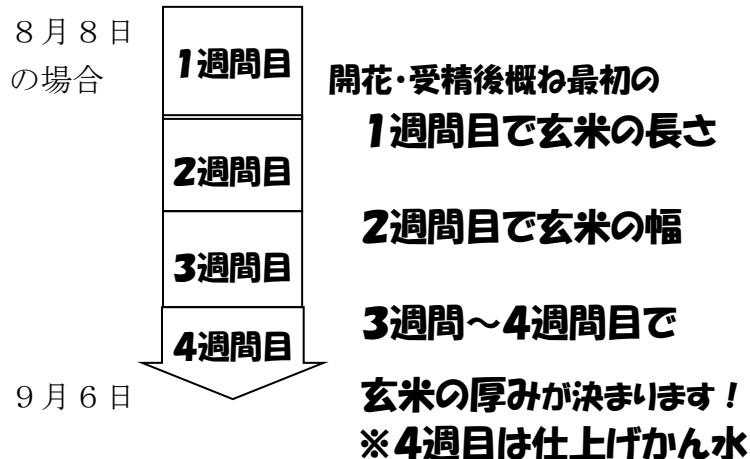


水管理が品質向上の決め手！(飽水管理水で登熟向上)

佐渡農業振興連絡会 稲作振興会

適度な水分の土壌は、根を健全に保ち土壌中の養水分の吸収を促すために、**非常に大切**となります。

玄米の大きさが決まるまでは、出穂してから約4週間（30日程度）かかります。



早く落水した場合、米は最後の厚みが取れず粒厚の薄い米(未熟粒)となりグレーダーから落ちてしまいます！

★完全落水の目安は、玄米の大きさがきまる「出穂後30日以降」にしましょう！

●未熟粒とは

「粒の厚みがなく扁平」「粒の幅が細い」「表面の縦溝が深い」などの充実不足粒（ヤセ米）の事です。

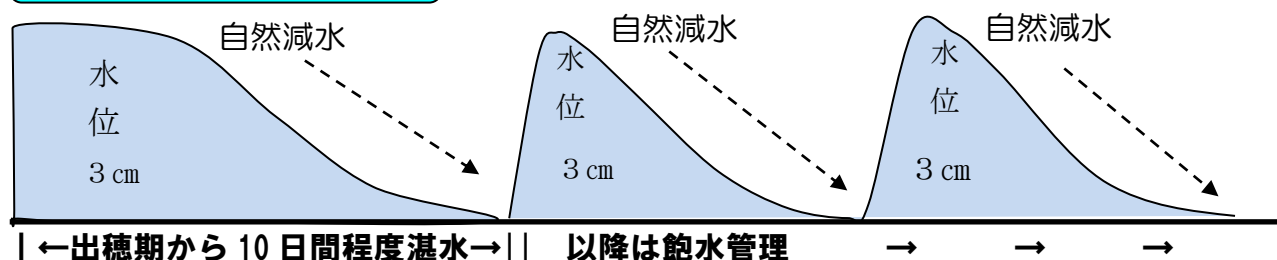
●未熟粒の発生要因

「籾数過多」「登熟期の水分不足」「地力低下等による後期栄養不足」など

【飽水管理の効果】

- ① 土（田面）の水がたまったり、減って田面が出たりすると土の栄養が出てきます。これが稲の栄養を補い、穂の充実を促し、「未熟粒」を軽減できます。
- ② 「乳心白」「胴割粒」「基部未熟」の発現を抑える効果があり、米の品質が安定します。

飽水管理のイメージ



出穂期から10日間程度は湛水管理とし、それ以降出穂後30日目程度まで「飽水管理」で、根の健全化と登熟に必要な水分補給に努めましょう！！



★田面の高い部分が隠れる程度入水！

★土が白くなるほど乾かし過ぎに注意！

○乾きにくいほ場では週 1 回のかん水にあわせて、溝切の溝を補修し排水準備をしましょう、乾きやすいほ場では週 2 回程度のかん水を実施してください。

○用水確保が難しいほ場でも(土が湿っている状態を保つ)水管理を徹底しましょう。

※9月1日～7日の間に必ず最低 1 回は仕上げとして、かん水を行ないましょう！！

フェーンが予想される場合は、早めに入水。フェーンに遭遇する前に田んぼを湿らせるだけで被害を顕現できます。

★異常高温時は「たっぴい湛水」や「落水」より『飽水管理』の方が地温の上昇を抑制します。

適期防除でカメムシ撃退！ 斑点米は絶対出させない！！

※本格的梅雨で雑草が多発！多量の雑草種子を餌にカメムシが多発傾向！

カメムシの密度高くない場合でも加害時期が高温だと吸汁活動が盛んになります。

7月は日照がやや少なく、8月も暑くなる見込みのため割れ粳が発生しやすくカスミカメムシが吸汁されやすくなるため注意が必要です！

★草刈と合わせて、下記の防除の徹底をお願いいたします！！

○ 粉・液剤の場合

2回散布が原則です。斑点米常発地や雑木林付近等でカメムシ密度が高い場合は畦畔も含めて散布してください。

○ 粒剤の場合

粒剤は同じ成分の粉剤・液剤より効果が劣るので、多発地区では臨時で「粉」または「液剤」防除を追加してください。

※共同防除を体系に組んでいる方は早生は1回目、コシヒカリについては2回目の防除日と出穂後日数に注意し、必要な場合は2回散布となるよう準備しましょう。

令和5年産「JA 佐渡米」栽培実績書の記帳・提出について

○「JA 佐渡米」栽培実績書は、8月のJA外務活動にて配布いたします。

8月18日(金)までにお近くのJA営農窓口へ提出をお願いいたします。

【注 意】

JA 佐渡に出荷いただけるお米については、全品種の栽培実績書の提出をお願いします。特に5割減減以上の栽培品種については、栽培方法区分別シールの発送を円滑に実施する為に、最終防除が終了した段階で早めの記帳・提出にご協力をお願いします。

日中の屋外作業は『熱中症』に十分注意しましょう！！

熱中症対策ポイント

- ・体調がすぐれない日は無理をしないようにする（急に暑くなる日は特に注意する）
- ・喉が渇く前に、こまめに水分補給をする（定期的に涼しい場所で休憩する）
- ・帽子で日差しを遮り、熱を逃がしやすい服装で作業を行なう
- ・作業はできる限り2人以上で行なう
- ・携帯電話は常に携帯し、具合が悪くなったらすぐ連絡できるようにしましょう

暑い夏を乗り切り、恵の秋までがんばりましょう！

高温気象で葉色淡い！

出穂前追肥を検討し、飽水管理を徹底！

- ・ 連日の高温で、2回目の穂肥後でも、葉色が低下しているほ場がみられます。
- ・ コシヒカ리의出穂期は8月6日頃(平年差1日早い)の見込みです。
- ・ 気象庁では、8月上旬ごろに気温がかなり高いと予報しています。

1 7月31日現在のコシヒカリ生育状況 (拠点9地点平均、移植日平均5月9日)

葉色：淡い (一部で急激な葉色低下がみられる)

区 分		本 年 値	目 標 差	前 年 差
葉 色	SPAD	30.2	-2.8	+0.5
	葉色板	3.1	-0.7	-0.1

2 コシヒカリの管理ポイント

高温が続き、栄養不足の状態に登熟すると、未熟粒が多く発生します。ただちに葉色を確認し、出穂前の栄養確保に努めましょう。

(1) 一発肥料の場合：葉色低下で追肥を実施

葉色が低下しているほ場で、まだ追肥を実施していない場合は「出穂期の10日から5日前」に追肥を実施する(葉色の目安はカラスケール3.3以下、SPAD値30以下)。

(2) 分施肥系の場合：3回目の穂肥を検討

2回目の穂肥後も葉色が低い場合は、出穂期3日前までに3回目の穂肥を検討する。(葉色の目安は上記一発肥料と同様)

3 水管理

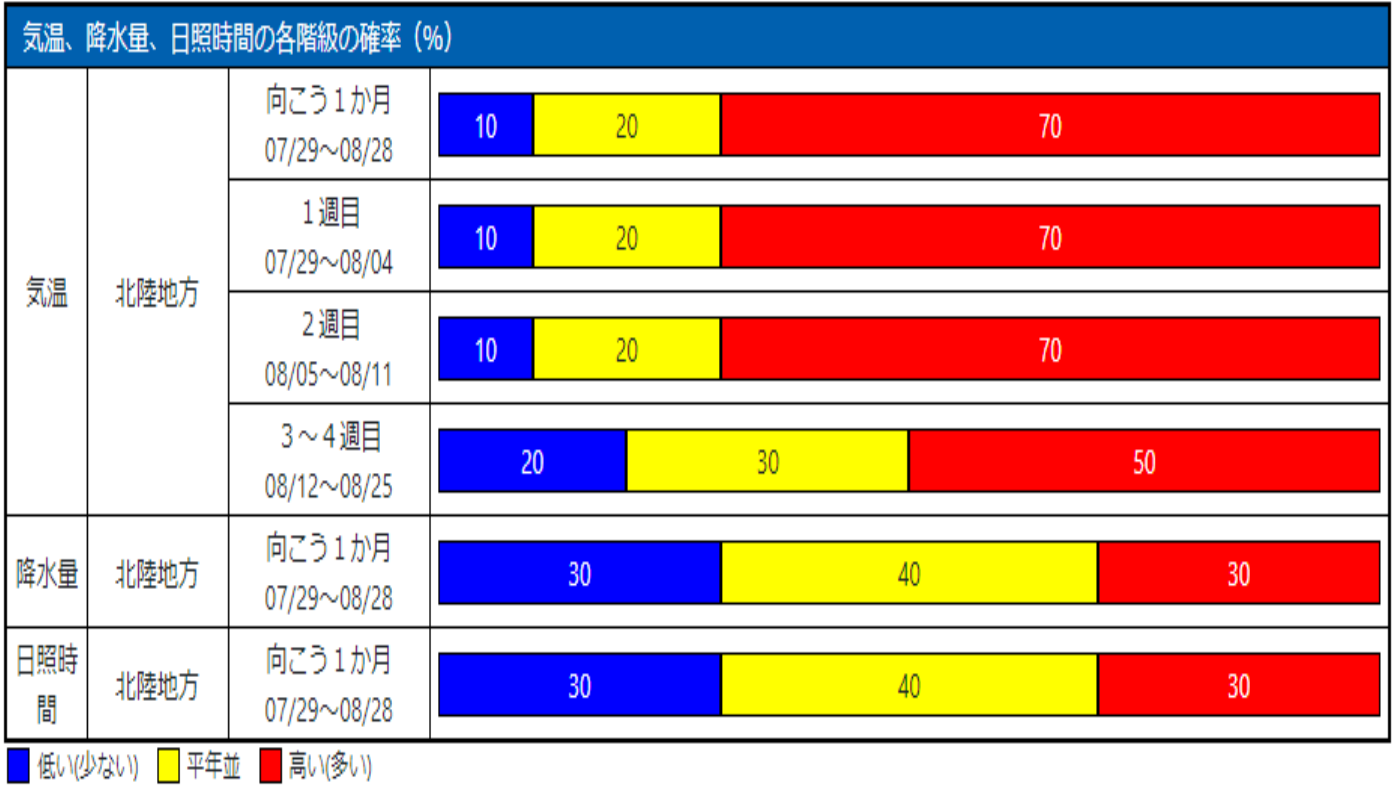
- ・ 出穂期から25日間は飽水管理等を継続し、かけ流し管理などは絶対に行わない。
- ・ 異常高温や強風・フェーンとなる場合は一時的に湛水する。ただし、高温条件での長期湛水は根腐れにつながるので、フェーン等が収まったら早めに飽水管理等に移行する。

8月も気温が高い日が続く見込みです。草刈りや穂肥施用など屋外での農作業は、気温の高い時間帯を避け、水分補給や休憩時間を十分に確保するなどの熱中症予防と健康管理に十分注意してください。

<<参考資料（[気象庁 | 季節予報 \(jma.go.jp\)](http://jma.go.jp)より引用）>>

●北陸地方 1 か月予報（7 月 27 日現在）

北陸地方 1 か月予報（07/29～08/28）		
2023年07月27日14時30分 新潟地方気象台 発表		
特に注意を要する事項	期間の前半は、気温がかなり高くなる見込みです。	
向こう1か月 07/29～08/28	天候	平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
	気温	平均気温は、高い確率70%です。
1 週目 07/29～08/04	気温	1 週目は、高い確率70%です。
2 週目 08/05～08/11	気温	2 週目は、高い確率70%です。
3～4 週目 08/12～08/25	気温	3～4 週目は、高い確率50%です。



- 7 月 29～8 月 28 日までの期間は平年より暑くなる見込みとなっています。特に期間の前半は気温がかなり高くなる見込みなので注意が必要です。
- 降水量、日照時間は平年並みの見込み。

暑い日が続きますので稲が暑さに負けないように水管理の徹底をお願いいたします！
 また、熱中症につきましても十分ご注意ください！

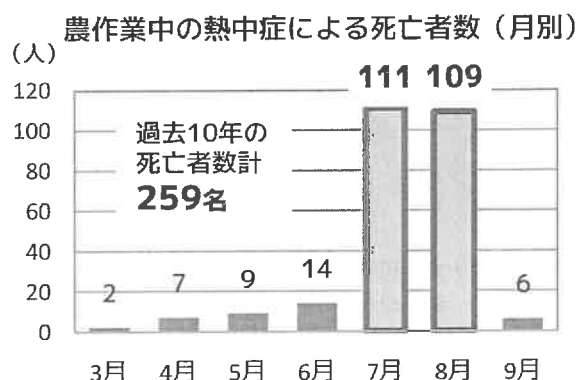
農作業中の熱中症を 予防しましょう!!

夏に向けて、農作業中に熱中症になる人が増えてきます。

熱中症は正しい知識を身につけることで、適切に予防することが可能です!!

* 農作業中の熱中症 *

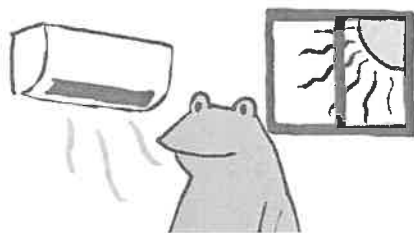
- 毎年、約**30名**の方が農作業中の熱中症により**死亡**
- 死亡事故の約**85%**が**7～8月**に発生している一方で3～6月にも発生



* 予防のポイント *

暑さを避ける

高温時の作業は極力避け、日陰や風通しのよい場所で作業



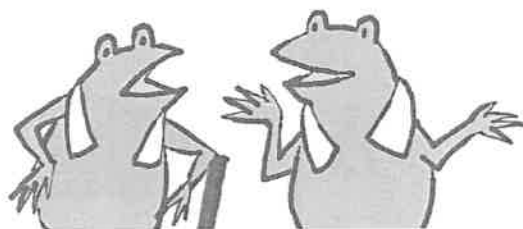
こまめな休憩と水分補給

喉の渇きを感じる前に、こまめに水分・塩分を補給



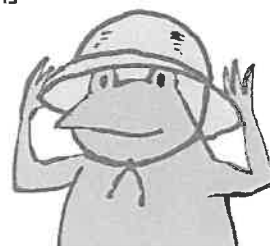
単独作業は避ける

複数名で作業を行う、時間を決めて連絡をとり合う



熱中症対策アイテムの活用

帽子や吸湿速乾性の衣服の着用、空調服や送風機の活用



そのほか、日々の体調管理など熱中症に負けない体づくりをしておきましょう!



もっと
知りたい!!

熱中症対策

* 熱中症対策アイテム *

身体を冷やす

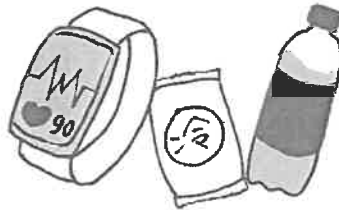
暑い時間帯の作業等が避けられないときに活躍



ファン付きウェア、
ネッククーラー

1人作業の備え

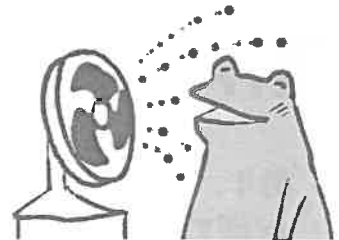
やむを得ず1人作業をする際
のリスクを回避したいときに
活躍



ウェアラブル端末、
応急セット

環境改善

作業場を涼しくしたり、休憩
の質を高めたいときに活躍



ミストファン

* 熱中症警戒アラートと MAFFアプリの連携 *

熱中症警戒アラートとは？

熱中症の危険性が極めて高くなると予測
された際に発表される注意喚起情報

STEP 1

MAFFアプリの入手



Android



iOS

STEP 2

地域の設定



マイページ
>プロフィール設定

STEP 3

PUSH通知ON



スマートフォン側の
通知設定も確認

STEP 4

通知が届く



登録した都道府県に
アラートが発生され
ると通知が届く

* 熱中症が疑われる場合には *

01 作業を中断



(代表的な症状)

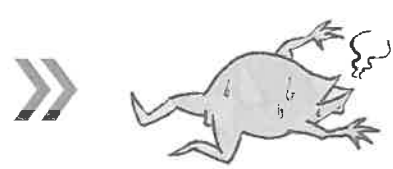
- ・ 汗をかかない、体が熱い
- ・ めまい、吐き気、頭痛
- ・ 倦怠感、判断力低下

02 応急処置



- ・ 涼しい環境へ避難
- ・ 衣服をゆるめ体を冷やす
- ・ 水分・塩分を補給

03 病院へ



応急処置をしても症状が改善
しない場合は医療機関で診療
を受けましょう!!